

軽症の外国人患者の大学病院等へ受診が多いことから、外国人患者が症状に応じて安心して医療機関を受診できる環境整備が必要

➡ 「1 外国人患者受入れ医療機関の整備」・「2 医療情報等の効果的な提供」・「3 地域における受入環境整備」を推進する必要がある

1 医療機関の整備

(1) 外国人患者受入れ体制整備支援補助(H29～)

- ・院内資料、ホームページ、案内表示などの多言語化
- ・翻訳のためのタブレット端末等の導入
- ・職員の医療通訳養成に関する研修等に係る費用を補助

【対象】：病院及び診療所(※)

(※)「外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関」に選出されている
又は今後応募予定の医療機関

【基準額】：1,300千円×1/2

【R2補助実績】：13医療機関

(2) 医療機関向け救急通訳サービス(英・中・韓・仏・タイ・スペイン)

都内の登録医療機関を対象に、救急で来院した外国人患者が、日本語が不自由なために診療に支障を来すような場合に、電話による医療通訳サービスを提供

(英・中)24時間365日

(韓・仏・タイ・スペイン)平日 17時～20時、土日祝日 9時～20時

【R2通訳実績】：172件

(3) 外国人患者対応支援研修(H28～)

場面ごとにおける外国人対応時の注意事項や、制度等の説明方法、医療費の支払方法や未収金防止対策等について学ぶ研修を実施

【対象】：都内医療機関従事者等

【開催方法】：オンデマンド形式による動画配信

【プログラム】：「遠隔医療通訳の利用方法」、「やさしい日本語の導入方法」、「外国人患者の受入のための院内書類等の整備」等

【参加者数】：354名

2 医療情報の提供

(1) 外国人患者向け医療情報サービス(英・中・韓・タイ・スペイン)

外国語対応可能な都内医療機関や日本の医療制度等を相談員が案内
(毎日9時～20時) 【R2案内実績】：11,101件

(2) 医療機関案内サービス「ひまわり」(英・中・韓)

Webサイトにより外国語対応可能な都内医療機関情報を提供
【トップページアクセス件数(R2.4.1～R3.3.31)】：9,344件

(3) 医療機関向け外国人患者対応支援ポータルサイト(令和3年3月公開)

外国人患者対応に資する様々な情報を取りまとめ、Webサイトを公開

3 地域における受入環境整備

(1) 外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関

外国人患者の受入れが可能であり、かつ外国人患者を積極的に受け入れることを公表する医療機関を選出

【選出医療機関数】：193か所(R3.9.1時点)

(2) 外国人患者への医療等に関する協議会

医療機関や関係団体、観光・宿泊施設等による会議体を運営し、連携を強化し、外国人への医療提供に係る取組を促進

【R2主な協議事項】検討部会において、「外国人患者対応支援ポータルサイトの構築」、「訪日外国人患者対応フローチャートの作成」について検討

(3) 地域の実情に応じた外国人患者受入環境整備事業

行政、医療機関や関係団体、宿泊施設や観光施設等が連携し、地域の実情に応じた、外国人患者の受入環境を整備する取組を支援(地域会議の開催等)

【先駆的事業 補助率10/10 上限5,000千円】 R2実績なし